



SOMPOアセットマネジメント

A Theme Park for Security, Health & Wellbeing

# 経済・金融市場見通し

2023年4月

2023年4月17日発行

SOMPOアセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者関東財務局長（金商）第351号  
加入協会／一般社団法人投資信託協会  
一般社団法人日本投資顧問業協会

# 経済・金融市場見通し： 国内

## 経済環境

### ：成長幅は減速を予想

日本経済については、金融緩和の継続、入国制限撤廃によるインバウンド需要の回復などが景気を下支えし、緩やかながらも景気回復が継続すると考えます。ただし、原材料価格上昇や人件費増大による企業収益の悪化や、物価高による家計の消費減速などにより、成長幅は減じてくると予想します。

物価については、2月の消費者物価指数（除く生鮮食品）は前年比3.1%（1月4.2%）となりました。今後は、電気・ガス価格激変緩和対策事業によりエネルギー価格が抑制されることや前年対比で食料品価格等が下落に転じることから、2%台の伸び率に鈍化すると予想します。

連合は、4/3時点集計結果で傘下の労働組合の平均賃上げ率を3.7%と公表し、約30年ぶりの高い賃金の伸び率となりました。欧米で金融システム不安や景気後退懸念が高まるなか、足元の物価上昇および賃金上昇を日銀新体制がどのように評価するか注目されます。

## 債券市場

### ：日銀新体制の戦略修正を睨みながらも、金利上昇は限定的と予想

#### ◆ 前月の振返り

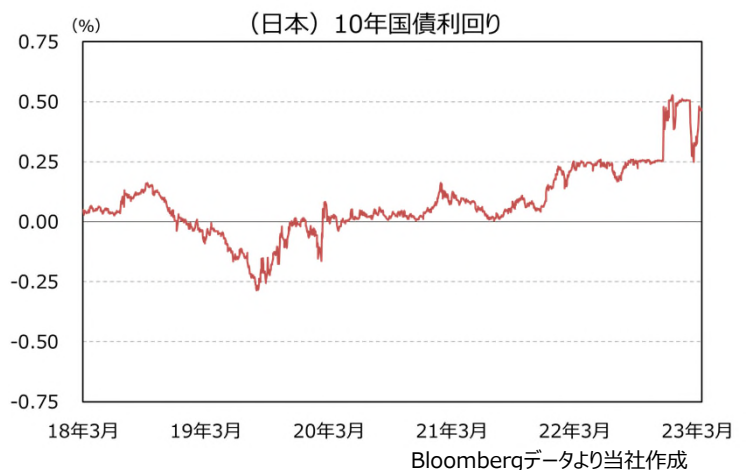
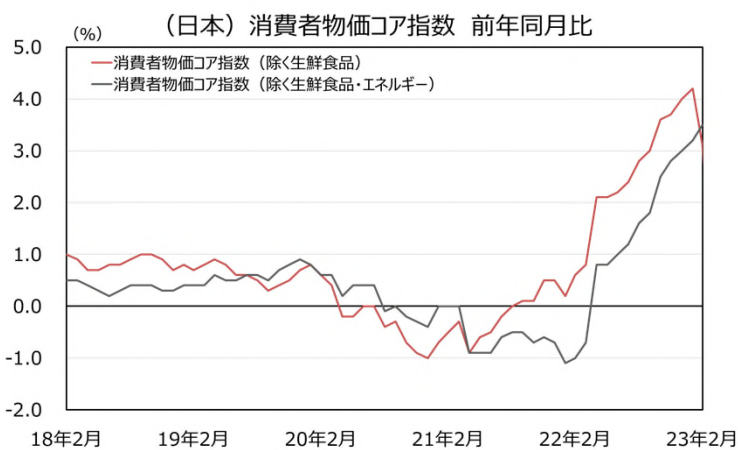
3月の国債利回りは低下（価格は上昇）しました。

米銀の破綻を受けて欧米において金融システム不安が強まったことで国債が買われ、利回りは低下しました。日銀が金融政策の据置き判断をしたことも金利低下圧力となりました。

#### ◆ 見通し

今後については、前月の低下傾向が一服し、10年債はイールドカーブコントロール政策の変動許容幅上限付近への上昇を見込みます。

金融システム不安は一旦緩和されつつあり金利低下圧力は弱まると考えます。イールドカーブコントロール政策の副作用である市場機能の低下は継続しているため政策修正の可能性は高く、10年金利は変動許容幅の上限である0.5%に向けて上昇圧力が高まりやすいと考えます。一方で、経済の先行きが不透明なため、その他の年限の金利への上昇圧力は限られると考えます。



	22年3月末 実績値	23年3月末 実績値	23年6月末 予測値	23年9月末 予測値	23年12月末 予測値	24年3月末 予測値
国内債券 10年国債利回り	0.21%	0.32%	0.50%	0.75%	0.75%	0.75%

予測値は予想レンジの中心値を記載

■本書は、情報提供の目的でS O M P Oアセットマネジメント株式会社が作成した資料です。■本書は、S O M P Oアセットマネジメントが、各種の一般に信頼できると考えられる情報に基づいて作成したのですが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。本書に記載された内容、意見や予測は今後予告無しに変更される場合があります。■本書に使用した運用成績等は、過去の実績に基づいたものであり、将来の運用成績を保証するものではありません。■本書は、法令に基づく開示書類ではありません。■本書は、ご紹介したプロダクトの約定等をお約束するものではありません。

## 株式市場

### ： 上値は重いと予想

#### ◆ 前月の振返り

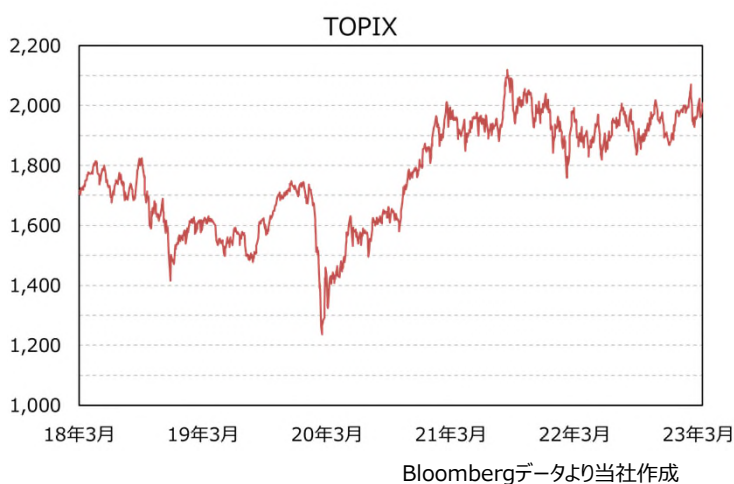
3月の国内株式市場は上昇しました。米銀破綻などを受けて月中に下落しましたが、当局の迅速な対応や、年内の利下げ期待の高まりなどを背景に、急速に値を戻しました。

#### ◆ 見通し

今後については、上値が重くなると予想します。

東証の要請に応じて資本効率改善に向けたアクションを起こす企業が増えることが相場の支えになるものの、停滞感を強める企業業績が株価の重石になると見ています。

企業業績については、自動車生産の正常化や中国景気の回復などのプラス材料がある一方で、海外主要中央銀行の引き締めの金融政策が景気抑制方向に効き始めると予想するため、市場参加者の期待が高まりにくい状況が続くと考えます。



	22年3月末 実績値	23年3月末 実績値	23年6月末 予測値	23年9月末 予測値	23年12月末 予測値	24年3月末 予測値
国内株式 TOPIX	1,946.40	2,003.50	2,000	2,050	2,100	2,150

予測値は予想レンジの中心値を記載

■本書は、情報提供の目的でSOMPOアセットマネジメント株式会社が作成した資料です。■本書は、SOMPOアセットマネジメントが、各種の一般に信頼できると考えられる情報に基づいて作成したものです。その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。本書に記載された内容、意見や予測は今後予告無しに変更される場合があります。■本書に使用した運用成績等は、過去の実績に基づいたものであり、将来の運用成績を保証するものではありません。■本書は、法令に基づく開示書類ではありません。■本書は、ご紹介したプロダクトの約定等をお約束するものではありません。

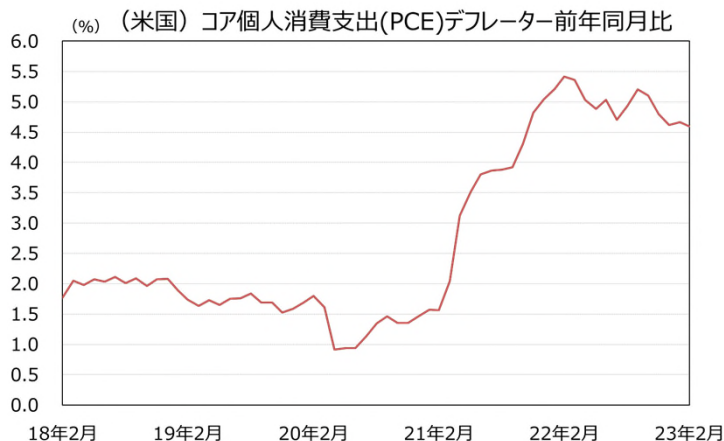
## 経済環境

### ：景気減速の継続を予想

米国経済については、金融政策の引き締め効果が本格的に発現することが想定され、減速が継続する展開を予想します。

個人消費支出価格指数は、変動の大きい食品とエネルギーを除くコア指数で、2月は前年比4.6%（1月4.7%）となりました。また、3月の失業率は3.5%（2月3.6%）となりました。

シリコンバレーバンク及びシグネチャー・バンクの破綻を受けて、特に中小銀行から預金が流出しています。銀行の貸出態度は昨夏より厳格化しており、今回の銀行危機を経て更に銀行貸出が抑制されることが懸念されます。3月のFOMC（米連邦公開市場委員会）では0.25%の政策金利引き上げが決定されましたが、今後、懸念されている信用収縮が実際に起きるか、またその時にFRB（米連邦準備理事会）がどのような金融政策を採るかが注目されます。



## 債券市場

### ：金融不安の緩和で金利低下圧力が弱まるものの、金利上昇余地は限定的と予想

#### ◆ 前月の振返り

3月の米国10年債の利回りは大幅に低下（価格は上昇）しました。

複数の銀行が破綻したことで金融システム不安が強まったことや、経済指標が今後の景気後退を示したことで、今後の政策金利の上昇幅が限定的との見方が強まり、利回りは大幅低下しました。

#### ◆ 見通し

今後については、当面、不安定な状況が続くと予想します。

金融市場に対する不安が後退し足もとでは金利が下げ止まっています。さらに、物価動向がFRBの目標程度まで落ち着く状況が見通せず追加利上げ観測が払拭されないため、金利上昇圧力は残ると予想します。ただし、景気悪化懸念と相まって金融不安は払拭されず、金利の上昇余地は限られると考えます。



Bloombergデータより当社作成

	22年3月末 実績値	23年3月末 実績値	23年6月末 予測値	23年9月末 予測値	23年12月末 予測値	24年3月末 予測値
米国債券 米国10年国債利回り	2.34%	3.47%	3.60%	3.40%	3.35%	3.30%

予測値は予想レンジの中心値を記載

■本書は、情報提供の目的でSOMPOアセットマネジメント株式会社が作成した資料です。■本書は、SOMPOアセットマネジメントが、各種の一般に信頼できると考えられる情報に基づいて作成したものです。その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。本書に記載された内容、意見や予測は今後予告無しに変更される場合があります。■本書に使用した運用成績等は、過去の実績に基づいたものであり、将来の運用成績を保証するものではありません。■本書は、法令に基づく開示書類ではありません。■本書は、ご紹介したプロダクトの約定等をお約束するものではありません。

# 経済・金融市場見通し： 米国

## 株式市場

：金融引き締め継続を想定も、金利低下期待もあり一進一退の展開を予想

### ◆ 前月の振り返り

3月の米国株式市場は上昇しました。

月央、シリコンバレーバンクの破綻が欧米金融機関の信用不安へ波及し、株式市場は大きく下落しました。その後、米国政府による預金保護や、スイス政府によるクレディスイスの救済合併の仲介など、監督当局の対応で金融システムへの不安は後退し、月間では上昇しました。

### ◆ 見通し

今後の株式市場については、一進一退の展開を予想します。

金融不安によって厳格化した、銀行の融資姿勢が実体経済に悪影響を与えることや、政策当局はインフレ抑制を継続することから、株式市場にとって厳しい局面が想定される一方、金利上昇余地が限定的になっていることや、景気後退や信用不安の局面では政策対応が期待できることから、好悪材料が入り混じった展開を予想します。



## 為替市場

：米国の景気減速懸念を受けて、当面は不安定な動き

### ◆ 前月の振り返り

3月のドル円相場は、円高ドル安となりました。

中旬に米国の地方銀行が経営破綻すると、米国の金融システム不安によりドルが売られる展開となりました。その後、金融システム不安が欧州に拡大するなかで市場のリスク回避姿勢が高まり、円高ドル安が一段と進行しました。月末にかけては、過度な金融システム不安は後退するなかで市場のリスク回避姿勢が弱まり、円の上昇幅は縮小しました。

### ◆ 見通し

今後については、当面不安定な動きが続くと予想します。

引き続き資源輸入による日本の貿易赤字が円安ドル高要因となると予想します。一方で、日本の物価上昇や賃金上昇を受けた金融正常化観測の高まりや米国のこれまでの利上げの影響を受けた景気減速懸念の高まりが円高ドル安要因となり、当面は不安定な動きになると予想します。



	22年3月末 実績値	23年3月末 実績値	23年6月末 予測値	23年9月末 予測値	23年12月末 予測値	24年3月末 予測値
米国株式 S&P500	4,530.41	4,109.31	4,000	4,150	4,200	4,250
為替 米ドル/円	121.38	133.09	133.00	133.00	131.00	130.00

予測値は予想レンジの中心値を記載

■本書は、情報提供の目的でSOMPPOアセットマネジメント株式会社が作成した資料です。■本書は、SOMPPOアセットマネジメントが、各種の一般に信頼できると考えられる情報に基づいて作成したのですが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。本書に記載された内容、意見や予測は今後予告無しに変更される場合があります。■本書に使用した運用成績等は、過去の実績に基づいたものであり、将来の運用成績を保証するものではありません。■本書は、法令に基づく開示書類ではありません。■本書は、ご紹介したプロダクトの約定等をお約束するものではありません。

# 経済・金融市場見通し： 欧州

## 経済環境

### ：潜在成長率以下への減速を予想

欧州経済については、物価の高騰が消費に与える影響や、引き締め的な金融政策が経済活動に及ぼす影響等が懸念され、潜在成長率以下に減速する展開を予想します。

物価については、3月の消費者物価指数は変動の大きい食品とエネルギーを除くコア指数で前年比5.7%（2月5.6%）となりました。

ECB（欧州中央銀行）は3月の理事会で0.5%の利上げを行った一方、直近で発生した金融市場の悪化を踏まえて今後の政策金利に関する道筋を示しませんでした。重視するコアインフレ率が引き続き高いなか、金融市場不安定化のリスクを懸念する声もあり、ECBは難しい舵取りが要求されます。

## 債券市場

### ：金融不安は一旦緩和されたものの、当面は不安定な動きを予想

#### ◆ 前月の振り返り

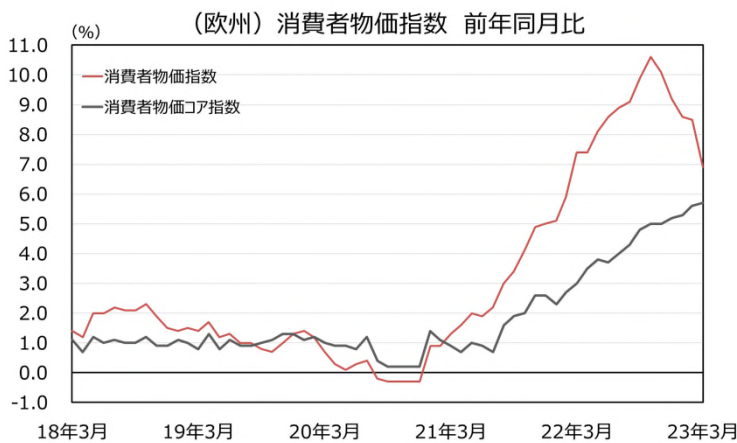
3月のドイツ10年債の利回りは低下（価格は上昇）しました。

米国銀行の破綻を発端に欧州でも金融システム不安が広がり、利回りは大幅に低下しました。

#### ◆ 見通し

今後について、ドイツ債券市場は、当面は不安定な相場推移となると見込みます。

基調的な物価上昇が早期に転換する可能性は低く、金利上昇圧力は継続すると考えます。一方で、景気悪化懸念や金融システム不安が利回りの低下圧力となることや、ECBがデータ重視の姿勢を示していることから、当面、金利は不安定な動きになると考えます。



	22年3月末 実績値	23年3月末 実績値	23年6月末 予測値	23年9月末 予測値	23年12月末 予測値	24年3月末 予測値
欧州国債 ドイツ10年国債利回り	0.55%	2.29%	2.40%	2.40%	2.20%	2.10%

予測値は予想レンジの中心値を記載

■本書は、情報提供の目的でSOMPOアセットマネジメント株式会社が作成した資料です。■本書は、SOMPOアセットマネジメントが、各種の一般に信頼できると考えられる情報に基づいて作成したのですが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。本書に記載された内容、意見や予測は今後予告無しに変更される場合があります。■本書に使用した運用成績等は、過去の実績に基づいたものであり、将来の運用成績を保証するものではありません。■本書は、法令に基づく開示書類ではありません。■本書は、ご紹介したプロダクトの約定等をお約束するものではありません。

# 経済・金融市場見通し： 欧州

## 株式市場

：金融引き締め継続を想定も、金利低下期待もあり一進一退の展開を予想

### ◆ 前月の振返り

3月の欧州株式市場は前月末比でほぼ横ばいとなりました。

月央、シリコンバレーバンクの破綻が欧米金融機関の信用不安へ波及し、株式市場は大きく下落しました。その後、米国政府による預金保護や、スイス政府によるクレディスイスの救済合併の仲介など、監督当局の対応で金融システムへの不安は一服し、月間では前月末と同水準となりました。

### ◆ 見通し

今後の株式市場については、一進一退の展開を予想します。

一旦後退した金融不安が欧州金融機関で再燃する可能性があることや、政策当局はインフレ抑制を継続することから、株式市場にとって厳しい局面が想定される一方、金利上昇余地が限定的になっていることや、景気後退や信用不安の局面では政策対応が期待できることから、好悪材料が入り混じった展開を予想します。



## 為替市場

：対円では横ばい圏での推移を予想

### ◆ 前月の振返り

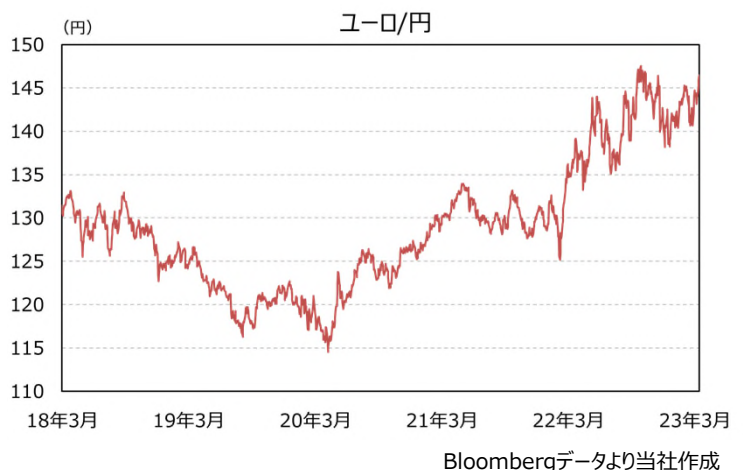
3月のユーロ円相場は、ほぼ横ばいとなりました。

中旬にスイスの大手金融機関の信用不安が拡大するとユーロが売られる展開となり、円高ユーロ安が進行しました。月末にかけては、過度な金融システム不安が後退する中で、ドイツの消費者物価指数市場予想が上振れたことを受けてユーロが値を戻し、前月末対比ではほぼ横ばいとなりました。

### ◆ 見通し

今後については、当面ユーロは対円で横ばい圏での推移を予想します。

ECBがインフレに対処し金融引き締めを継続することがユーロ高要因になると考えます。一方、脱炭素化や脱ロシア依存を進めるなかでユーロ圏のエネルギー価格は下がりにくいことやユーロ圏の景気低迷、日本の物価上昇や賃金上昇を受けた日銀の金融正常化観測の高まりが円高圧力となることから、ユーロの一段の上昇は限られると考えます。



	22年3月末 実績値	23年3月末 実績値	23年6月末 予測値	23年9月末 予測値	23年12月末 予測値	24年3月末 予測値
欧州株式 MSCI EUROPE指数	1,820.11	1,860.70	1,800	1,850	1,880	1,890
為替 ユーロ/円	135.05	144.60	144.97	144.97	144.10	143.00

予測値は予想レンジの中心値を記載

■本書は、情報提供の目的でSOMPPOアセットマネジメント株式会社が作成した資料です。■本書は、SOMPPOアセットマネジメントが、各種の一般に信頼できると考えられる情報に基づいて作成したのですが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。本書に記載された内容、意見や予測は今後予告無しに変更される場合があります。■本書に使用した運用成績等は、過去の実績に基づいたものであり、将来の運用成績を保証するものではありません。■本書は、法令に基づく開示書類ではありません。■本書は、ご紹介したプロダクトの約定等をお約束するものではありません。

# 経済・金融市場見通し： 新興国

## 経済環境

**：中国は景気回復継続  
新興国は金融引き締めが景気に下押し**

中国では、3月の製造業やサービス業の購買担当者指数がいずれも景気拡大を示す水準にあるほか、低迷が続いてきた住宅販売に関しても大都市を中心に回復の兆しが見られ、リオープンによる景気回復が順調に進んでいます。昨年の景気減速による反動増や、経済活動の正常化を受けて当面は相対的に高い経済成長率が続くと思えます。

政策面では、全人代で選ばれた政府の新しい最高指導部が民間企業を重視するスタンスを示す中、2020年末に実施されてきた大型インターネット企業への規制強化が終焉を迎えると期待され、インターネット業界の景況感が次第に底入れするものと考えます。

新興国においては、これまでの利上げの累積効果や先進国の景気減速を受けて、当面は景気が減速すると思われませんが、内需が総じて底堅いなかで、インフレ圧力の緩和から利上げを停止する国も増えつつあり、年央には持ち直し傾向に転じる可能性が高いと考えます。

## 債券市場

**：利回りの上昇幅も徐々に限定的になると予想**

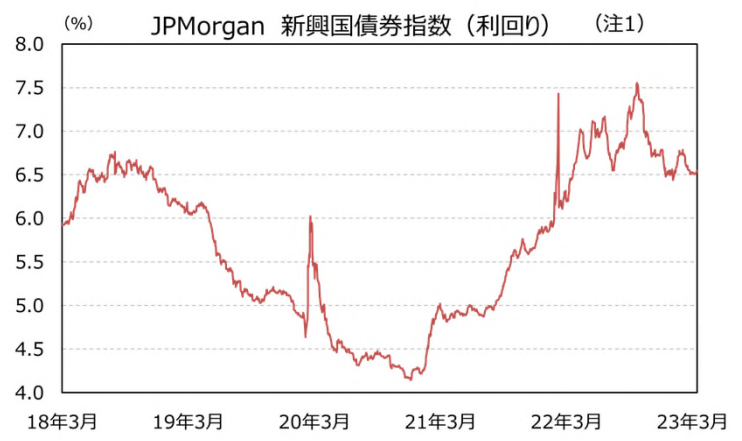
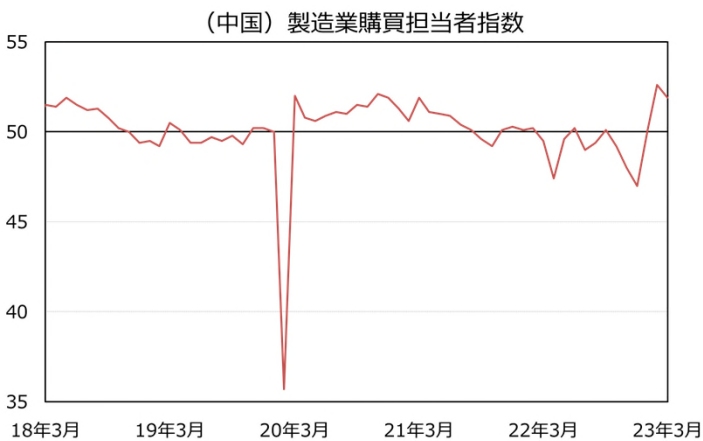
### ◆ 前月の振り返り

3月の新興国債券市場の利回りは低下（価格は上昇）しました。

欧米の金融システム不安の高まりが警戒される局面はあったものの、米10年債の利回りが大きく下がった影響から、多くの新興国の利回りは低下しました。規律的な財政規則案を公表したブラジルや、中央銀行がハト派的な金融政策に転じる姿勢を示したメキシコなどの下げ幅が大きくなりました。

### ◆ 見通し

今後については、米国金利に上昇圧力がかかる局面では新興国債券市場の利回りも上昇すると思われませんが、新興国においてもインフレ圧力の緩和から利上げを停止する国も増えつつあり、今後の利回りの上昇余地は徐々に限定的になると考えます。



Bloombergデータより当社作成

	22年3月末 実績値	23年3月末 実績値	23年6月末 予測値	23年9月末 予測値	23年12月末 予測値	24年3月末 予測値
新興国債券 JPMorgan新興国債券指数 (利回り) (注1)	6.19%	6.52%	6.70%	6.60%	6.50%	6.40%

予測値は予想レンジの中心値を記載

(注1) JPMorgan GBI-EM Global Diversified Index Excluding BB- Rated CountriesについてBloombergデータより当社作成

■本書は、情報提供の目的でSOMP Oアセットマネジメント株式会社が作成した資料です。■本書は、SOMP Oアセットマネジメントが、各種の一般に信頼できると考えられる情報に基づいて作成したのですが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。本書に記載された内容、意見や予測は今後予告無しに変更される場合があります。■本書に使用した運用成績等は、過去の実績に基づいたものであり、将来の運用成績を保証するものではありません。■本書は、法令に基づく開示書類ではありません。■本書は、ご紹介したプロダクトの約定等をお約束するものではありません。



## 株式市場

：金融引き締めから、一進一退の展開を予想

### ◆ 前月の振返り

3月のエマージング株式市場は上昇しました。

月央、シリコンバレーバンクの破綻が欧米金融機関の信用不安へ波及、株式市場は大きく下落しました。その後、米国政府による預金保護や、スイス政府によるクレディスイスの救済合併の仲介など、監督当局の対応で金融システムへの不安は一服し、月末にかけては、中国の大手インターネット企業が事業構造改革を発表したことが好感され、月間では株式市場は上昇しました。

### ◆ 見通し

今後の株式市場については、一進一退の展開を予想します。

世界的な金融引き締めによるグローバルな景気減速や欧米金融機関の信用不安が懸念される一方で、直近の経済指標が中国の生産活動や個人消費の回復余地を示していることや、それに伴う投資家心理の改善を背景に、エマージング株式市場は、好悪材料が入り混じった一進一退の展開を予想します。

## 為替市場

：米国の利上げ継続により、不安定な展開を予想

### ◆ 前月の振返り

3月の新興国通貨は、対ドルでは上昇しましたが、円高が進行したため、対円では下落しました。

中央銀行が市場予想を上回る利上げを実施した南アフリカランドや、財政上の懸念が後退したブラジルレアルなどが上昇した一方で、エルドアン大統領が大統領・議会選挙の前倒し実施を表明し、政治の不透明感が高まったトルコリラなどが下落しました。

### ◆ 見通し

今後については、米国の利上げ継続が見込まれるなかで、不安定な相場展開を予想します。経常収支や財政収支等のファンダメンタルズの国別格差はあるものの、米ドル高圧力が続くなかで、新興国通貨は全般的には下落しやすいと考えます。

MSCI エマージング・マーケット指数



JPMorgan 新興国通貨指数 (円ベース) (注1)



	22年3月末 実績値	23年3月末 実績値	23年6月末 予測値	23年9月末 予測値	23年12月末 予測値	24年3月末 予測値
新興国株式 MSCI エマージング・マーケット指数	65,528.93	59,416.19	58,500	60,000	62,000	64,000
為替 JPMorgan 新興国通貨指数 (円ベース) (注1)	6,492.83	6,764.17	6,717	6,783	6,747	6,760

予測値は予想レンジの中心値を記載

(注1) JPMorgan Emerging Market Currency Index Live SpotとBloombergデータより当社作成

■本書は、情報提供の目的でSOMP Oアセットマネジメント株式会社が作成した資料です。■本書は、SOMP Oアセットマネジメントが、各種の一般に信頼できると考えられる情報に基づいて作成したものです。その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。本書に記載された内容、意見や予測は今後予告無しに変更される場合があります。■本書に使用した運用成績等は、過去の実績に基づいたものであり、将来の運用成績を保証するものではありません。■本書は、法令に基づく開示書類ではありません。■本書は、ご紹介したプロダクトの約定等をお約束するものではありません。

## 各資産クラスのリターン実績

青色は期間中に最も高いリターンであった資産クラス、  
赤色は期間中に最も低いリターンであった資産クラスをそれぞれ意味します（短期資産を除く）。

2023年3月末時点

	国内債券	国内株式	外国債券	外国株式	新興国債券	新興国株式	短期資産
過去1ヶ月間	1.4%	1.7%	1.3%	0.7%	2.0%	0.7%	0.0%
過去3ヶ月間	2.2%	7.2%	4.6%	8.9%	6.6%	4.9%	0.0%
過去1年間	-1.7%	5.8%	-0.5%	2.4%	9.3%	-1.6%	0.0%
過去3年間（年率）	-1.2%	15.3%	2.3%	26.2%	9.1%	16.0%	0.0%
過去5年間（年率）	-0.4%	5.7%	2.7%	14.2%	2.6%	4.0%	0.0%
過去10年間（年率）	0.7%	9.2%	3.6%	13.7%	2.2%	6.0%	0.0%
2021年度	-1.2%	2.0%	2.0%	23.0%	1.6%	-2.3%	0.0%
2020年度	-0.7%	42.1%	5.4%	59.8%	16.9%	62.7%	0.0%
2019年度	-0.2%	-9.5%	4.4%	-12.4%	-9.2%	-19.4%	-0.1%
2018年度	1.9%	-5.0%	2.5%	10.1%	-3.3%	-3.3%	-0.1%
2017年度	0.9%	15.9%	4.2%	8.5%	7.9%	19.7%	-0.1%
2016年度	-1.2%	14.7%	-5.4%	14.5%	4.6%	16.6%	0.0%
2015年度	5.4%	-10.8%	-2.7%	-8.6%	-7.8%	-17.2%	0.1%
2014年度	3.0%	30.7%	12.3%	23.5%	3.5%	17.4%	0.1%
2013年度	0.6%	18.6%	15.3%	32.4%	1.7%	8.4%	0.1%
2012年度	3.7%	23.8%	17.7%	29.0%	23.0%	16.9%	0.1%
2011年度	2.9%	0.6%	5.0%	0.5%	2.7%	-9.2%	0.1%
2010年度	1.8%	-9.2%	-7.5%	2.4%	0.1%	5.4%	0.1%
2009年度	2.0%	28.5%	0.2%	46.8%	29.3%	71.8%	0.1%
2008年度	1.3%	-34.8%	-7.2%	-43.3%	-13.4%	-47.3%	0.4%
2007年度	3.4%	-28.1%	0.5%	-16.8%	-1.8%	2.6%	0.5%
2006年度	2.2%	0.3%	10.2%	17.9%	14.5%	21.1%	0.3%

Bloombergデータより当社作成

国内債券	NOMURA-BPI（総合）
国内株式	TOPIX（配当込み）
外国債券	FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）
外国株式	MSCI KOKUSAI（配当込み、円ベース）
新興国債券	（～2018/01）JPMorgan新興国債券指数（円ベース）
新興国株式	（2018/02～）JPMorgan新興国債券指数（除くBB-格未満、円ベース）
	MSCI エマージング・マーケット指数（配当込み、円ベース）

■本書は、情報提供の目的でSOMPOアセットマネジメント株式会社が作成した資料です。■本書は、SOMPOアセットマネジメントが、各種の一般に信頼できると考えられる情報に基づいて作成したものです。その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。本書に記載された内容、意見や予測は今後予告無しに変更される場合があります。■本書に使用した運用成績等は、過去の実績に基づいたものであり、将来の運用成績を保証するものではありません。■本書は、法令に基づく開示書類ではありません。■本書は、ご紹介したプロダクトの約定等をお約束するものではありません。

## 市場予測

		2022年 3月末 実績値	2023年 3月末 実績値	2023年 6月末 予測値	2023年 9月末 予測値	2023年 12月末 予測値	2024年 3月末 予測値
国内債券	Nomura-BPI総合	381.04	374.74	369.65	361.85	362.32	362.79
	10年国債利回り	0.21%	0.32%	0.50%	0.75%	0.75%	0.75%
国内株式	TOPIX	1,946.40	2,003.50	2,000	2,050	2,100	2,150
	日経平均株価	27,821.43	28,041.48	28,000	28,500	29,000	29,500
外国債券	FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）	512.65	510.10	510.38	517.06	519.33	521.23
	米国10年国債利回り	2.34%	3.47%	3.60%	3.40%	3.35%	3.30%
	ドイツ10年国債利回り	0.55%	2.29%	2.40%	2.40%	2.20%	2.10%
	JPMorgan新興国債券指数（利回り）（注1）	6.19%	6.52%	6.70%	6.60%	6.50%	6.40%
外国株式	MSCI KOKUSAI指数（配当込み、円ベース）	5,514.32	5,644.42	5,740	5,780	5,830	5,830
	S&P500	4,530.41	4,109.31	4,000	4,150	4,200	4,250
	MSCI EUROPE指数	1,820.11	1,860.70	1,800	1,850	1,880	1,890
	MSCI エマージング・マーケット指数	65,528.93	59,416.19	58,500	60,000	62,000	64,000
為替	米ドル/円	121.38	133.09	133.00	133.00	131.00	130.00
	ユーロ/円	135.05	144.60	144.97	144.97	144.10	143.00
	JPMorgan 新興国通貨指数（円ベース）（注2）	6,492.83	6,764.17	6,717	6,783	6,747	6,760

注1 JPMorgan GBI-EM Global Diversified Index Excluding BB- Rated CountriesについてBloombergデータより当社作成

注2 JPMorgan Emerging Market Currency Index Live SpotとBloombergデータより当社作成

■本書は、情報提供の目的でSOMPPOアセットマネジメント株式会社が作成した資料です。■本書は、SOMPPOアセットマネジメントが、各種の一般に信頼できると考えられる情報に基づいて作成したのですが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。本書に記載された内容、意見や予測は今後予告無しに変更される場合があります。■本書に使用した運用成績等は、過去の実績に基づいたものであり、将来の運用成績を保証するものではありません。■本書は、法令に基づく開示書類ではありません。■本書は、ご紹介したプロダクトの約定等をお約束するものではありません。

ご留意事項

---

# 投資一任契約に際しての一般的な留意事項

## ● 投資一任契約に係るリスクについて

投資一任契約に基づく運用は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とし、投資元本が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により運用資産の価値が変動します。従ってお客様から受託した資産の当初の評価額（元本）を下回ることがあり、さらに元本を超えて損失を被るおそれがあります。

投資一任契約の投資対象は、個別の投資一任契約毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご契約に当たっては契約締結前交付書面等をよくご覧下さい。

## ● 投資一任契約に係る費用について

[ご契約頂くお客様には以下の費用をご負担いただきます。]

### ■ 投資一任契約の期間中に直接または間接的にご負担いただく費用

…… 投資一任報酬をご負担いただきます。適用する料率は、運用の対象となる資産、契約資産残高、契約内容等に応じて異なりますので、料率、上限額等を表示することはできません。契約締結前交付書面等でご確認下さい。

### ■ その他の費用等

…… 上記以外に保有期間等に応じてご負担頂く費用があります。「その他の費用等」については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。契約締結前交付書面等でご確認下さい。

※当該投資一任契約に係る費用の合計額については、契約期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

## 《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資一任契約を想定しております。投資一任契約に係るリスクや費用は、それぞれの投資一任契約により異なりますので、ご投資をされる際には、事前によく契約締結前交付書面等をご覧下さい。

## 投資信託をお申込みに際しての留意事項

### ●投資信託に係るリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とし投資元本が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により投資一単位当たりの価値が変動します。従ってお客様のご投資された金額を下回ることもあります。

又、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書（交付目論見書）や契約締結前交付書面をよくご覧下さい。

### ●投資信託に係る費用について

[ご投資頂くお客様には以下の費用をご負担いただきます。]

- 購入時に直接ご負担いただく費用・・・購入手数料上限3.85%（税抜3.5%）
- 換金時に直接ご負担いただく費用・・・信託財産留保金上限0.5%
- 投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用・・・信託報酬上限2.09%（税抜1.9%）
- その他費用等・・・上記以外に保有期間等に応じてご負担頂く費用があります。

「その他の費用等」については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。交付目論見書、契約締結前交付書面等でご確認下さい。

当該手数料等の合計額については、ご投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

### 《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、SOMP Oアセットマネジメントが運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前によく交付目論見書や契約締結前交付書面をご覧下さい。

## その他 留意事項

---

- 本書は、情報提供の目的でS O M P Oアセットマネジメント株式会社（以下当社）が作成した資料です。
- 本書は、当社が、各種の一般に信頼できると考えられる情報に基づいて作成したのですが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。本書に記載された内容、意見や予測は今後予告無しに変更される場合があります。
- 本書に使用した運用成績等は、過去の実績に基づいたものであり、将来の運用成績を保証するものではありません。
- 本書は、法令に基づく開示書類ではありません。
- 当社は、グローバル投資パフォーマンス基準（Global Investment Performance Standards, GIPS®）への準拠を表明しています。なお、当社は、2012年4月1日から2022年3月31日の期間について独立した検証者による検証を受けております。当社は機関投資家向け資産運用及び投資信託運用の意思決定過程が一体化しておりますので、GIPS基準では、全体を「会社」として定義しております。なお、当社のコンポジットの概略一覧表およびGIPS基準に準拠した提示資料は、ご請求に応じご提出可能です。GIPS®はCFA協会の登録商標です。CFA協会は、本組織を認証または推奨するものではなく、また、本書に記載されている内容の正確性または品質を保証するものでもありません。
- 請求先：S O M P Oアセットマネジメント株式会社  
投資顧問営業部 電話：03-5290-3422
- 尚、検証は、会社のコンポジットおよびプールド・ファンドの維持管理ならびにパフォーマンスの計算、提示、および配布に関する方針と手続が、GIPS基準に準拠してデザインされ、会社全体に適用されているかどうかについて保証を行うものです。検証は、特定のパフォーマンス報告書の正確性を保証するものではありません。